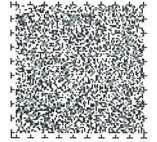




平成 27 年 2 月 25 日
第 109 号

発行 福岡視力障害センター
〒 819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365

ホームページ <http://nrcc.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



卒業生を送ることば

所長 酒井 健治

本日、晴れて卒業を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、同じ障害を持ち、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師になるという目標の実現に向け、当センターで出会い、共通の時間を過ごされました。ひやりとした進級、ドキドキした実技の実習、クラス一丸となったスポーツ訓練発表会、餅つき大会で餅をついたことなど、いろいろなことが思い出されることと思います。

また、努力しても思い通りにならず目標をあきらめそうになった時もあったのではないかと思います。経験も年齢も違う人たちが励ましあいながら、今日の日を迎えました。

この後、皆さんは国家試験の合格をまって理療師として社会に出ますが、決して資格取得がゴールではなく、これからが新たな人生のスタートです。

しかし、今日の社会情勢や経済状況から考えて見ますと、皆さんのこれからの人生は、どんなにがんばっても、壁に当たったり、失敗して悩んだりすることがあるかもしれません。そんな時は、一緒に学んだ仲間や先生がいることを思い出して、手助けや助言を求めたり、同じ悩みや困難を抱える人がいれば情報交換して助けあったりしてください。そして、これまで努力してきた自分の力を信じ、問題に正面から向かい、道を開いていってください。

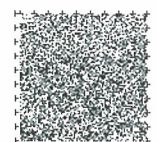
皆さんが夢や希望の実現に向け着実に一歩ずつ進み、病んだ人や障害のある人の心の分かる理療師となり、それぞれの地域や職場で活躍されることを期待しております。

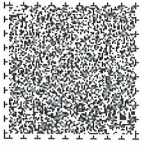
最後に、卒業生を支えてこられたご家族の皆様、心からお祝いを申し上げますとともに、卒業生の皆さんのご健康とこれからの人生に幸多からんことを願って「卒業生を送ることば」といたします。

同窓会長 福島 則文

卒業生の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

視力障害センターの3年間の勉学で学ばれた、あ・は・き師の国家資格取得を、今や遅しと待つておられることと思います。どこへ行っても高齢化社会という環境の変化は余り変わりません。地域社会の繁栄そして自らの成長に悔いのない日々をお築き下さいませ。





卒業生からのメッセージ

3年A組

H.Mさん（福岡県出身）

たくさんの出会いと別れを経験した3年間、そして年上の皆さんの良い手本、悪い手本を目の当たりにしてきました。(笑)

勉強以外では、先輩方とライブをしたり、話したり楽しい思い出も出来ました。

1、2年生の皆さん、勉強はもちろん大切ですが、たまには息抜きも必要です。残りのセンター生活が実りあるものとなりますように。

I.Tさん（長崎県出身）

福岡視力センターにお世話になって早いもので、3年が過ぎようとしています。学年が上がるにつれ、時間の流れがものすごく速く感じるようになりました。

視力が悪くなり、行きつけの眼科で病名を知り、仕事をする事ができなかつたので、第2の人生の仕切り直しをしようと思い、やってきて本当に良かったと思いました。入所したての頃は、環境確認から入らないとわからず、戸惑うことばかりでしたが、そのうち慣れてきて、勉強・仲間・先生・職員の方々に恵まれ、やっとここまで来ることができました。知らない言葉の勉強ばかりで、つらい思いもありましたが、楽しいことが多かったと思います。あとは、国家試験に合格して、桜の季節を迎えたいと思います。

皆様本当に、御指導・御協力ありがとうございました。三療師になりましたら、地域の皆様に恩返しができると思います。では、お元気で。

K.Tさん（佐賀県出身）

私がセンターに来た当初はどうやって次のステップに進めばいいのか不安でいっぱいでした。しかし、先生方や先輩の話聞いて不安はなくなり目標がはっきりと見えるようになりました。あとは国家試験に合格するのみです。そしてこれからが私の第2の人生の始まりなのです。人生の決断のチャンスくれたセンターに感謝し、次は私が後輩のためにアドバイス



できるよう結果を出して示したいと思っています。

A.Kさん（福岡県出身）

私は盲学校であん摩・マッサージ・指圧師の免許を取得したのちに、センターに入所しました。多少の知識がありましたので針灸の勉強もいづらか有利だと想像していましたが、教科によっては大変難しく、とても苦しみました。

人よりも長く医学を学んできただけにプレッシャーも大きく、平日は連日深夜まで勉強におわれました。この度国家試験を終えて卒業しますので、やっと開放される喜びでいっぱいです。すばらしい仲間や尊敬する先生方とのお別れはつらいものですが、春からは社会に出て頑張ってきます。センターでお世話になった皆さん、今まで本当にありがとうございました。

Y.Kさん（福岡県出身）

センターを卒業する時が迫ってきました。今まで出会うことのなかった多様な業種の方々と出会うことができ、とても刺激になると同時に勉強になりました。これからの人生に必ずプラスになると思います。また、マラソン・陸上大会や水泳大会などはじめての体験もでき、今後も続けて頑張っていきたいと思いません。

最後に、この3年ご支援くださった教員・職員の方々・仲間たち、本当にお世話になりました。

M.Yさん（福岡県出身）

入所して、いろんなことがありましたが、ここまで来る事が出来ました。良き仲間、良き同級生に出会って一人一人に感謝しています。

これからも目標に向かって頑張りたいと思います。今までありがとうございました。感謝しています。



「A組卒業生」

3年B組

K.Tさん（愛知県出身）

去年の4月に神戸センターから福岡センターに転入して来たので、こちらでの生活はわずか1年たらずでしたが、卒業するにあたってここでの思い出が感慨深く想起されます。

福岡センターの職員の方々にはとても親切にして頂き、スポーツ訓練発表会や餅つき、夏期・冬期支援などの特色ある行事にも参加できて、学習・活動とも充実して過ごすことができました。また、素敵なクラスメイトや仲間にも恵まれ、楽しく日常を送る事ができました。センター生活において関係してくださったすべての皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、センターで習得したことを社会で役立てていけるようさらに精進していきます。

N.Hさん（福岡県出身）

センターの桜のつぼみもふくらみはじめました。ここで学んだ多くのことを胸に抱き、希望をもって卒業します。三療師として必要な知識と技術、そして多くの仲間とこれから壁にぶつかったときに相談できる恩師を、この三年間で得ることができました。まだ合格は決まっていますが、それを信じ人生のリスタートを切り、一步一步積み重ねて行きたいと思います。

S.Sさん（福岡県出身）

40代で自立訓練に入って、今や早50過ぎ。年を取ると脳みそのしわが顔にしみ出すというけど、やはり記憶力の低下は避けがたい。それでも何とか卒業間近までたどり着けて、職員の皆さん、教官の方々、先輩・後輩諸氏、地域の皆さんのご好意には大変感謝しています。ありがとうございました。

M.Rさん（鹿児島県出身）

私は途中で全盲となり、センターには最初は自立するためのただ一つの手段で仕方なくという気持ちが強く、漠然としたイメージで入所しました。

しかし、もうすぐ卒業を迎え今は本当にセンターに来て良かったと思っています。同じ障害を持った人達との交流が、凄く私にとってプラスになり、目が悪くなったから出来ないと思い込んでいた様々な事にチャレンジしながら楽しく充実した3年間を過ごせまし

た。最初は仕方なく勉強していた私ですが、今では「あはき師」という職業に対し、やりがい・おもしろさを感じとても良い職業だと思えるようになりました。

入所したからこそたくさんの暖かい人達に出会えた事、この職業を知り学べた事とても嬉しく思います。これからも、より良いあはき師を目指して頑張っていきたいと思います。

K.Kさん（福岡県出身）

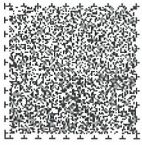
センター生活、あっという間の3年間でした。50歳を過ぎた私が、学生気分になり、楽しい時間を過ごすことができ、沢山の思い出を作ることができました。そして、新たな人生を送る準備も整い、期待と夢膨らむ一歩が踏み出せます。今まで、共に学んだ仲間達、そして、三療師になるため、ご指導して下さいました先生方、生活面でのフォローをして下さった、支援課、庶務課の皆様、心より感謝いたします。

I.Nさん（福岡県出身）

センターでの3年間は、私にとってとても大きな意味のある経験と、大切な友人ができた時間となりました。普通ではできない様々な体験と先生方のお話。そして、自分たちの事や仕事の事などたくさんの人と関わりながら成長し続けられる人になっていきたいと思っています。



「B組卒業生」



卒業生へのお祝いのことば

青柳 達也（教務課3年A組担当）

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。これもひとえに皆さんの頑張りの結果です。私たちが学んでいる東洋医学に、相対的価値観があります。それは、時期や地域などにより変化をとまなうものです。特に、臨床においては答は一つとは限りません。今後も皆さんが新しいことに挑戦したり、たゆまぬ努力を継続されることを願っています。

田端 里美（教務課3年B組担当）

ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした授業や球技大会、神戸の方を迎えての交流会、売店や図書室でおしゃべりした時間は、私の大切な思い出となりました。とても楽しかったです。体に気をつけて、落ち込むことがあっても挫けず諦めず、前を向いて歩いていってください。またお会いする時を、楽しみにしています。

川添 一郎（支援課3年A・B組担当）

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

センターを利用開始された当初は、果てしなく長く感じられたであろう今日までの月日を各自感

慨深く今振り返っておられることと思います。楽しかったこと、つらかったこと、思い出は様々だと思います。お疲れ様でした。ここでの経験を基礎として、今後もっともっと飛躍されていかれることを期待いたしております。

自治会長 西田 良一

希望溢れるご卒業誠におめでとうございます！在校生一同心からお喜び申し上げます。

ここに至るまでの道のりは、決して平坦なものではなかったと推察いたします。本当によく頑張られたことと尊敬いたします。後に続く私達も先輩方の姿を胸に刻み、勉学に努力することをお誓い申し上げます。ありがとうございました。

今年はチャップリンの映画デビューから、100年余り。彼の残した名言の中に「人生はクローズアップで見れば悲劇、ロングショットで見れば喜劇」とあります。その時はつらく思えても、長い目で見れば楽しい思い出になります。

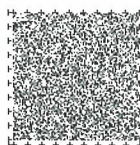
このセンターでの苦勞が報われ素晴らしい檜舞台が皆様を待っていることでしょう。

皆様の御健勝と御活躍をお祈りし、送ることばとします。

Eyeあいフェスタ開催

平成26年11月29日（土）、当センター主催の視覚障害者福祉フェスティバル「Eyeあいフェスタ」を、早良区にあります「ももちパレス」（地下鉄藤崎駅すぐ）にて開催しました。今年度は、時期も場所も従来から変更となりました。

出展内容はマッサージ体験、市民公開講座や、アイマスク歩行体験、日常生活用具紹介、各種相談のコーナーで、また協賛いただいた九州盲導犬協会様の盲導犬とのふれあいコーナー、三菱電機住環境システムズ株式会社様のユニバー



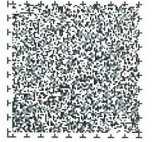
サルデザイン家電製品展示、株式会社ヨネザワ様と株式会社タイムズコーポレーション様の最新式の拡大読書器・ルーペ等展示の各コーナーです。

福岡市の方を中心に60名以上の来場者があり、視覚障害者の仕事や生活に便利な用具や支援について知識を深めていただくことができました。



「日常生活用具紹介コーナー」

後期スポーツ訓練発表会



去る12月11日(木)、当センター体育館において、スポーツ訓練発表会を開催しました。開会式が8時50分に始まり、所長挨拶と選手宣誓、競技上の注意事項等を行った後、9時からサウンドテーブルテニス(以下、STT)を、11時25分からフロアーバレーボール(以下、FV)を行いました。STT、FV共に1年生、2年生、3年A組、3年B組の合計4チームによるリンクリーグ戦を行った後、上位2チームによる決勝戦を実施しました。STTは2年生と3年A組が勝率及び得失ゲーム差、得ゲーム数で並ぶ大接戦となりましたが、代表者1名によるジャンケンで制した3年A組が予選リーグを勝ち上がりました。決勝戦は、予選リーグ1位通過の3年B組が3-0で勝利を収めました。FVは1年生と2年生が勝率で並びました

が、得失点差で1年生が予選リーグを勝ち上がりました。決勝戦は、予選リーグ1位通過の3年B組が15-6で勝利を収めました。今大会は選手として参加した職員もあり、STTではエキシビジョンマッチとして自立訓練生の試合も行われました。また発表会中は大きなケガもなく、和気あいあいと有意義なひとときを過ごすことができました。



センター行事以外の参加・活躍について

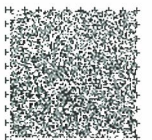
(1) 第28回福岡市身体障害者スポーツ大会への参加

10月5日に博多の森陸上競技場で、第28回福岡市身体障害者スポーツ大会が開催されました。

の12名が参加し、素晴らしい成績をおさめてきましたので、下記のとおり報告します。

1000名を超える選手の中で、当センター陸上部

種目	視力区分	年齢区分	男女	メダル	名前	記録
1500m	24	2	男	金	西田良一	7分57秒7
		1	男	金	山下慎治	4分43秒3
	25	1	女	金	村上理恵子	8分3秒2
		1	男	金	吉永光輝	5分33秒8
		2	男	金	近藤孝幸	7分51秒5
100m	25	1	男	金	山下慎治	12秒9
		1	男	金	吉永光輝	13秒0
50m	24	1	男	金	徳留大樹	12秒8
立幅跳	24	1	女	金	宮田瑠美	1 m 82cm
		2	男	銀	西田良一	1 m 86cm
	25	1	女	金	高井綾乃	1 m 65cm
		2	男	金	浅山賢一	2 m 36cm
	26	1	男	金	敷田光生	2 m 36cm
			女	金	村上理恵子	1 m 80cm





種目	視力区分	年齢区分	男女	メダル	名前	記録
走幅跳	26	2	男	金	近藤孝幸	3m33cm

砲丸投	24	1	男	金	徳留大樹	6m58cm
		2	男	金	一瀬智美	9m88cm
	25	1	女	金	高井綾乃	4m14cm

ソフト投	24	2	男	金	一瀬智美	38m64cm
		25	1	女	金	宮田瑠美
	2		男	金	浅山賢一	51m57cm
	26	1	男	金	敷田光生	50m86cm
			女	銀	川村俊之	49m42cm
			金	伊藤奈津子	24m46cm	

JS	26	1	男	金	川村俊之	32m53cm
			女	金	伊藤奈津子	13m14cm

400m	男子の部	優勝	川村俊之		吉永光輝
			敷田光生		山下慎治
	女子の部	優勝	村上理恵子		伊藤奈津子
			宮田瑠美		高井綾乃



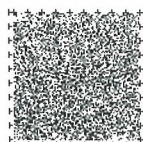
(2) 福岡マラソン2014 (山下 慎治)

2回目のフルマラソンです。今回は、2時間58分24秒、99位で完走しました。私は一人で走ることができませんが、伴走者の方と絆というロープを一緒に持つことによって走ることができます。絆というロープを持って走ることで、一人でできないことも、誰かの力を借りることで、できるようになることをこれから伝えていきたいと思います。

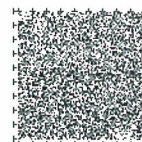


(3) ゴールボール福岡大会への参加

11月9日(日)に福岡市立障がい者スポーツセンターにて、ゴールボール福岡大会に出場しました。部員2名、有志4名で練習を重ね、経験者チームの多い中、見事4位に入賞することができました。チームで協力し、試合に出る面白さを感じ、沢山の人と交流することができました。



自立訓練について —パソコン訓練(ICT訓練)—



視覚障害者のコミュニケーションでは「点字」のみならず書字も多く用いられ、それは「点字」に対して「墨字」と言われます。その中で活字をよく扱う道具の一つにパソコンがあります。

パソコンと聞くと、画面を見ながらマウスやタッチパネルを使うと思い浮かべ、非常に困難と思われるかもしれませんが、しかし、スクリーンリーダーという画面の情報を音声で読み上げるソフトウェアを用い、またキーボードを中心に使う

ことにより、パソコンを操作することが可能なのです。

当センターのパソコン訓練は、本人の希望に沿った個別のプログラムを作成し、マンツーマンで行います。そして、インターネットを介したウェブや電子メールを、日常生活を送る上で必要な情報収集やコミュニケーション手段の一助として活用するため、必要な知識や技能を習得することを目標としています。



センターに関するQ&A

Q：あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験の合格状況を教えてください。

A：当センター利用者（現役者）の過去3年の「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師」国家試験の合格状況は、以下のとおりです。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
あん摩マッサージ指圧師	100.0% (84.1%)	88.9% (86.3%)	100.0% (83.9%)
はり師	88.9% (72.8%)	70.0% (77.7%)	100.0% (77.3%)
きゅう師	88.9% (70.0%)	77.8% (79.0%)	100.0% (79.0%)

※カッコ内の数字は、全国平均を示す。





利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス内容	対象者	定員	利用期間	訓練内容
自立訓練 (機能訓練)	視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方	10名	18ヶ月以内 *各訓練の評価結果と本人の意向を踏まえて期間を決めます。	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養
就労移行支援 (養成施設)	視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた18歳以上で次の①又は②に該当する方 ①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方 ②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方	60名	3年	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等
施設入所支援	上記の2サービスの利用者で、通所が困難な方	70名	上記の2サービス提供期間内	宿舍の提供、食事の提供、生活支援

2 利用開始日と申込締切日

サービス内容	利用開始日	応募締切日	利用者選考日
自立訓練 (機能訓練)	随時 (原則として月曜日)	随時受付	書類審査のみ
就労移行支援 (養成施設)	毎年度 4月上旬	年3回 (前年度の7月・10月・2月) 詳細はお問い合わせ下さい。	年3回 (前年度の9月・12月・3月) 詳細はお問い合わせ下さい。

(※) 利用定員に達し次第、募集は締め切ります。

3 利用に関するお問い合わせ

利用料やサービス内容についてはお気軽にお問い合わせください。当センター紹介ビデオ(DVD)の送付を希望される方は、お知らせください。

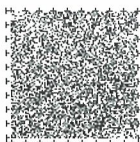
電話

092-807-2844 (支援課直通)

092-806-1361 (代表)

Eメール

shienka-fukuoka@rehab.go.jp



編集後記

1年を終えて

2-A T.D

あっという間の1年でした。編集に携わり、いい経験をさせてもらいました。

卒業生をはじめ、在生・関係者の皆様の、さらなる活躍と健康を心からお祈りいたします。

旅立つ皆様へ

2-B T.A

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆様の卒業に際し、この機関誌の編集に携わらせていただき、幸いです。プライベートや勉強面でいろいろお世話になりました。

大切な思い出いっぱいありがとうございました。

私も先輩方に続き頑張りたいと思います。